

—わたしたちの行動が次の時代のまちをつくる—

まちづくり会議

開催報告

第5回

「まちづくりの種」まこう



阿賀町 まちづくり観光課 まちづくり係

■開催日時・場所

令和元年12月12日（木） 午後7時から午後9時

阿賀町公民館 講堂

出席者 25名 欠席15名

■第5回ワークショップのプログラム

1. 「まちづくりの種」をまくために

- ・プロジェクト案を磨く
- ・アクションプランを考える
- ・プレゼンの準備

2. 本日の振り返り

■第5回ワークショップの概要

今回は発表前の最終の会議となった。前回に引き続き、プロジェクト案・アクションプランに取り組んだ。1チームはメンバーが2回にわたりそろわずグループワークができないことから、1人だけとなってしまったチームには目指すベクトルが似通ったチームへ合流してもらい、今回は7チームでの活動となった。

チームでの作業の進捗状況は様々である。ベクトルの微妙なずれを確認しながらを合意に向かって対話を進めているチーム、ベクトルは一致しているが、具体的なプロジェクトの内容を調整しきれず自主活動で今後もワークを重ねていくチーム、事前アンケート調査を実施したり、試作品づくりや事業化に向け様々な事業者と連携を始めたり、行政への協力依頼のために動き始めたチームもあり、トライ&エラーを重ねて着々と事業の実現に向け進んでいるチームもある。

今だけでなく、ずっと価値をもたらされ続けられる企画。その企画で提供したい価値をひとことと言えるまでの企画の売りを突き詰めて考え、そしてその企画を現実のものにすることを強く意識し、コンセプトと実現する具体的なものとの間にズレがないかを繰り返し確認しながら調整を続け、2月の発表に向け今後も自主ワークを重ねる。

■第5回を終えて

個々の発意からはじまり、異なる分野や価値観と交錯することでお互いを触発しあうなかで、当初自分だけでは思いつかなかった新たなアイデアが生まれ、チーム内での紆余曲折を経て様々なプロジェクト案が磨かれてきた。プロジェクト案ができただけでなく、この会議で自分と同じ思いを持つ人と出会えたこと、町をどうにかして変えていきたいという思いのある人がこれだけいることを参加者がお互いに確認できたこと、課題に取り組もうと世代や肩書を問わず対話するチームができたことなども参加者にとって大変意義があったことではないだろうか。

プロジェクト案やアクションプランを作成する会議は今回をもって終了し、次回はいよいよプレゼンテーションとなる。

プレゼンは単に発表の場ではない。伝えることが大切なのではなく、この場にいる参加者とともに「未来を一緒に描くこと」であり、この場にいる参加者で共鳴してくれる人に何らかの行動を促せることが目的である。

各チームとも共鳴してくれともに動き出す仲間を増やせるよう期待したい。

